

子どもみこしで

元気な掛け声

◆県子ども会中央大会◆

子どもみこしを作って、地域の秋祭りに参加しよう——と、九月一日、鳶ヶ池中グラウンドで「第十八回高知県子ども会中央大会」が開かれました。

この大会は、高知県子ども会連



出来上がったみこしを担いで市内を練り歩く

合会や南国市子ども会連合会などの主催で、県下の子ども会員が一堂所に集まり、創作活動を通して社会参加をしようと、毎年開かれています。

会場には、市内や高知市、安芸

市など九市町村から四十団体、約六百五十人の子ども会員と父母や関係者など合わせて千人が集まり、夏休み中に作りかけたみこしを並べ最後の仕上げをしました。出来上がったみこしは全部で四十三。子供たちが工夫を凝らして作ったものばかりで、本物のみこしをまねたものや子供たちに人気のキン肉マンの絵を書いたものなどさまざま。

午後からの大会では、南国市子ども会連合会を代表して、ひかり子ども会（西山）の山田和仁君が「皆さん、ようこそいらっしやいました。みんなで子ども会の輪を広げていきましょう」と歓迎の言葉を述べた後、六十年代優秀単位

表彰を受ける高知市子ども会長の皆さん



新米のおにぎり

おいしく



おいしそうにおにぎりを食べる園児たち

子ども会の表彰式が行われ、ひかり子ども会（西山）、そよかせ子ども会（大塚）など十団体が表彰されました。

子供たちは「ワッショイ、ワッショイ」と元気な掛け声で、手づくりのみこしを担いで長岡、後免町へと練り出し、まるで秋祭りが来たようなにぎわいでした。

市内でとれたコシヒカ리의おいしい新米を、子供たちに食べてもらおう——と、市米消費拡大推進協議会が市内各小学校、保育所、幼稚園に、新米合わせて五百十五kgを贈りました。

新学期が始まった九月四日には、児童、園児がこのおいしい新米を味わいました。

長岡西部保育所（西原和喜子所長）でも、調理のお姉さんが炊き立ての新米に、ふりかけやのりを巻き、たっくさんのおにぎりを準備。

また、サラダや唐揚げなども用意し、バイキングパーティーが開かれました。

この日は、プール納めということで、子供たちは泳ぎ遊んでもうおなかにはペコペコ。午前十一時過ぎ大ホールに集合し、お米を贈ってくれた人たちに感謝を込めて「どうもありがとう」と大合唱。

子供たちはみんな、小さなお口をいっぱいに向け、おにぎりをおいしそうにほおばっていました。